

■総会・研究発表会の報告

6月16日(日)に本年度の総会と研究発表会を開催しました。中央公民館が入っている複合施設建設中のため、駐車場が確保しやすい荒砥地区コミュニティセンターが会場でした。

本年度は役員改選期ではないため、前年の事業報告や決算、本年度の事業計画と予算が中心議題でした。



新しい事業としては、史談会の主催する講座「自分史を創ろう～5分間で自己紹介～」が渋谷敏己副会長を講師として開催することが承認されました。この講座については後で詳しく紹介します。

研究発表は次の2つでした。

「伝・光明海上人入定窟発掘調査から」

副会長 平吹利数さん

「日露戦争とベンチャーズ」

会長 丸川二男さん

この2つの研究発表は明年度発行の本会会誌「史談」に掲載されますので、筆者が興味をひかれたことを記しておきます。

平吹さんの発表は、黒嶋の蔵高院に安置されている湯殿山行者「光明海上人」と伝えられる「即身仏」についての研究発表でした。私たちは「即身仏」と聞くと「ミイラ」を想像してしまいがちですが、即身仏「光明海上人」は「ミイラ

ではないそうです。いわゆる「入定」が生きている時なのか、死後なのかという謎もあるそうです。そのほか、戒名が直されていることなどの謎が多く残されているとのことでした。

丸川さんの発表は、「日露戦争」と「ベンチャーズ」という全く関係がないように見えるものが、「On the Hills of Manchuria」という曲をとおしてつながりを持つというものでした。

ベンチャーズが1971年ごろにこの曲を知り、日本公演の際には欠かさず演奏されたといえます。元の曲は、日露戦争に従軍したイリヤ・シヤトロフという人が作曲したものでロシアでは吹奏楽やオーケストラの演奏会でよく演奏されるものだそうです。

実際の音楽は当日流されなかったため、インターネットで調べて聞いてみました。いい曲でした。

ベンチャーズのものも聞いてみました。こちらは何か懐かしい気持ちになりました。丸川さんのおかげで、青春時代に戻れたような気がします。(守谷記)

■史談会主催で「自分史講座」を開催します。

今年度の新しい事業として「自分史講座～5分間で自己紹介～」を計画しました。講師は副会長の渋谷敏己さんです。

詳しくは8月の町報で紹介されますが、9月13日から、月1回の中央公民館で午後7時から1時間の予定で開き、全部で5回の講座です。

「自分史」をむずかしく考えないで、自分について考える作業をしながら、「今まで気づかなかった自分を再発見(再評価)する」ことが大きな目標です。第1回と第2回の内容を紹介します。

第1回 9月13日(金)

テーマ1 自分を知る

参考文献なども紹介します。

第2回 10月18日（金）

テーマ2 略年表を作る

①私の〇〇時代

②ライフキャリアの振り返

史談会会員だけでなく、広く町民の方々を対象としています。受講料は5回通して1,000円としています。申込は教育委員会石井さんが受け付けますので、早めにお申し込みください。

■史談会研修旅行を行います

令和元年9月27日（金）に今年度の史談会研修旅行を行います。

「伊達領との縁をたずねる～モノとヒト～」をテーマに宮城県の船岡城址、磨崖仏、郷土館などをめぐります（詳しい旅程は同封のチラシをご覧ください）。

船岡城は大河ドラマ「樅ノ木は残った」（原作山本周五郎）の原田甲斐宗輔の居城で、寛文11年（1671）の伊達騒動の際に死亡・改易となり、その後は柴田氏が入城します。宗輔から二代さかのぼった原田宗時は川西町原田城の城主で、伊達家移封のため天正19年（1591）に原田城を離れたという歴史がありました。

福應寺毘沙門堂については、教育委員会にお問い合わせをいただき、拝観することになったので詳しく紹介させていただきます。

福應寺毘沙門堂には養蚕安全を祈って明和5～6年頃（1768～69）から昭和50年代まで23,837枚にのぼる絵馬が奉納されました。絵馬にはムカデが描かれており、ムカデは毘沙門天の使いであること、蚕を食害するネズミはムカデを嫌うことから養蚕の守り神として信仰されました（絵馬は平成24年に国指定重要有形民俗文化財に登録されました）。

奉納者は宮城県内がほとんどですが、わずかに福島県、山形県からの参拝もあり、明治11年正月吉日に「山形県下羽前国置賜郡第九大区十二小区米沢鮎貝村」「願主 樋口重助」と書か

れた絵馬があります（写真提供：角田市教育委員会）。



この樋口重助とはどのような人物かと宮城県のSさんからご質問をいただき、鮎貝の幾人かの方に伺ったところ、ご存じないとのことで残念ながらまだ手がかりは見つかっておりません。

他にも、鮎貝村小松利左エ門、鮎貝桐町川○甚吉の奉納札がありました。遠方の地まで養蚕安全を祈った彼ら足跡を追ってみたいと思います。もし、この人たちについてご存じの方があれば教育委員会までご連絡ください。（石井）

■お知らせなど

丸川二男会長さんが、健康上の理由で退会なさいました。会長に就任なさる前から、この会報の第1号から24号までほぼ2ヶ月に1号の割合で発行なさるなど、精力的に会の運営をなさってくださいました。大変残念に思います。健康を取り戻しなさいて復帰されますことをお祈りします。

それにともないまして、7月31日（水）に役員会を開催し、会則9条に基づいて副会長の平吹利数さんが会長を代行することとなりました。今年度いっぱいには会長不在ということになりますが、みなさまどうぞ御協力をお願いいたします。

また、会報の原稿を随時受け付けております。現在興味を持っていることや取り組んでいることなどなんでもかまいません。気軽に応募ください。（守谷）